

# プラットフォームデジタル化指標 紹介資料



2022年1月17日 改版

2021年9月27日 初版

独立行政法人情報処理推進機構  
社会基盤センター

# 1. プラットフォームデジタル化指標とは

## ●プラットフォーム（PF）デジタル化指標の目的

企業がDXを推進する中で、DX推進指標などによりITシステムに何らかの問題があると判断した場合に、

- ① ITシステムの詳細な評価により問題を可視化する
- ② 対策が必要なITシステムの部位を特定し、優先順位決定のためのビジネス上の重要性などについて明確にする
- ③ 優先順位に従って対策を実行するためのロードマップを策定して実行に移していくことを促進する

## ●PFデジタル化指標想定利用者

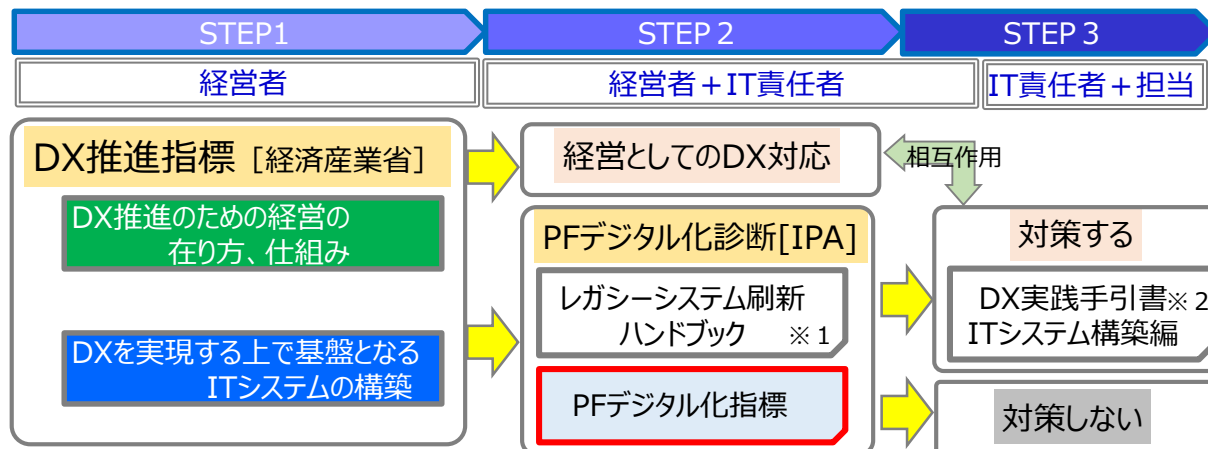
- ① DXを推進する企業（経営者の判断のもとに企業IT部門が実施する）
- ② コンサル・ITベンダなど（企業から委託を受けてITシステムの評価を客観的に企業と共に実施する）

## ●PFデジタル化指標利用方法

- ① すでに問題がありそうなシステムがわかっている場合や、あるいは試験的にスモールスタートをしたい場合は評価項目を絞って適用することが可能。
- ② コンサル・ITベンダなどの既存の評価指標での評価と組み合わせて利用することも可能。

## ●経済産業省DX推進指標との関係

凡例： → 経営判断を示す



指標	タイミング	スコープ
DX推進指標	・定期的実施（1回／年とか）	・企業のビジネスとITシステムの両方
PFデジタル化指標	・DX推進指標で問題ありと判明したとき ・経営者が自社のITシステム状況を十分に把握できていないと感じたとき	・ITシステムが主体

※ 1：「DX実践手引書 ITシステム構築編 レガシーシステム刷新ハンドブック」  
…現行ITシステムの整理、仕様復元に関して記載。

※ 2：DXで必要となる基本的な考え方、ITシステムの要件、技術要素などを記載。

## 2. プラットフォームデジタル化指標の構成

### ● 指標の構成

PFデジタル化指標は大きく分けて ①ITシステム全体と②機能システムごと から構成される。  
さらに前記①、②は属性情報と評価項目から構成される。

①ITシステム全体  
②機能システム  
については次ページ参照

対象	種別	大分類			項目数
<div>評価する上で把握しておくべき特性・状況など。</div> <div>企業のITシステム全体を評価する。</div> <div>目指すべき状態に対して現状がどのような状態であるかを評価。</div> <div>企業のITシステム全体を構成する「機能システム」を評価。</div> <div>DX実現に必要な変化への柔軟かつ迅速な対応、データ活用の度合を評価。</div> <div>DX対応上で前提となる、ソフトウェア品質および技術的負債の状況を評価</div>	ITシステム全体	属性情報	財務		5
		評価項目	機能システム間の独立性		12
			データ活用の仕組み		
			運用の標準化		
			ガバナンス	プロジェクトマネジメント、品質	
				セキュリティ、プライバシー	
				CIO、デジタル人材	
	機能システムごと	属性情報	事業特性		13
			影響度		
			システム特性		
			保有リソース		
			IT資産の状況		
		評価項目	①DX対応に求められる要件	データ活用性	46
アジリティ(ユーザ要件への対応)					
アジリティ(非機能要件への対応)					
スピード					
②基礎的な要件			ITシステム品質	利用品質	
				開発品質	
			IT資産の健全性		

各社に共通の項目とする（個社固有の観点は入れない）

機能システムごとの項目については、一部項目は評価対象外とすることも可能

評価する上で把握しておくべき特性・状況など。

企業のITシステム全体を評価する。

目指すべき状態に対して現状がどのような状態であるかを評価。

企業のITシステム全体を構成する「機能システム」を評価。

DX実現に必要な変化への柔軟かつ迅速な対応、データ活用の度合を評価。

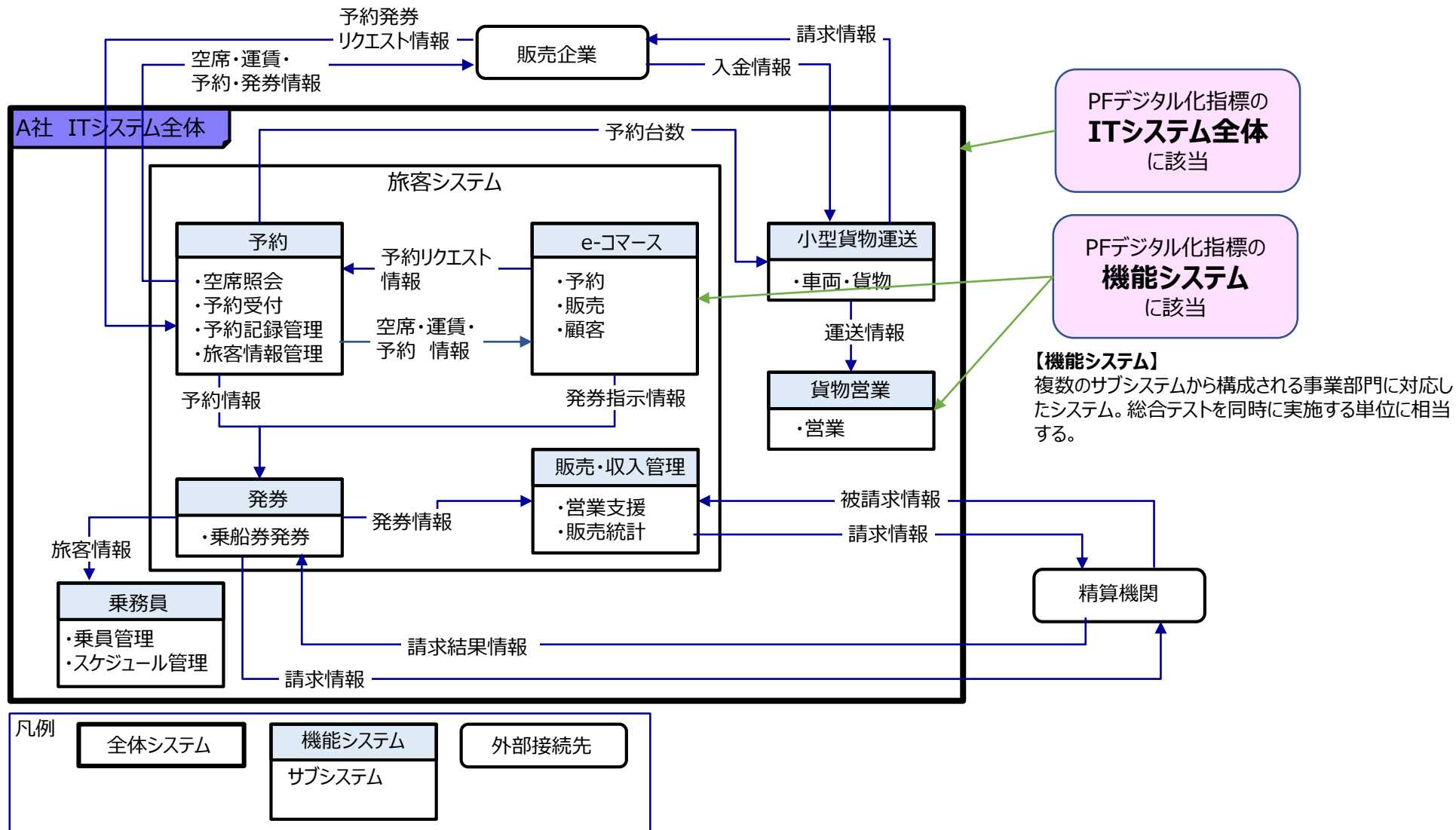
DX対応上で前提となる、ソフトウェア品質および技術的負債の状況を評価

各社に共通の項目とする（個社固有の観点はいれない）

機能システムごとの項目については、一部項目は評価対象外とすることも可能

## 2. プラットフォームデジタル化指標の構成

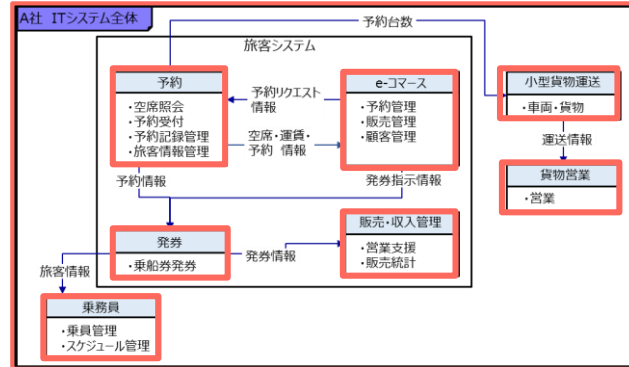
### ● ITシステム全体と機能システム（参考例）



# 3. プラットフォームデジタル化指標適用パターン

## ●PFデジタル化指標適用パターン

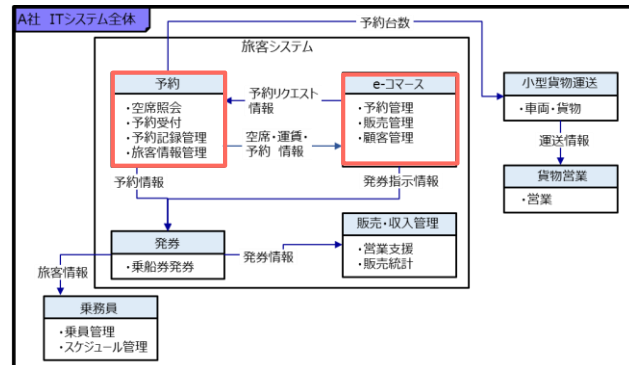
下記の3パターンを想定している。



①ITシステム全体に適用

現在のITシステム全体の状況が把握できていない場合

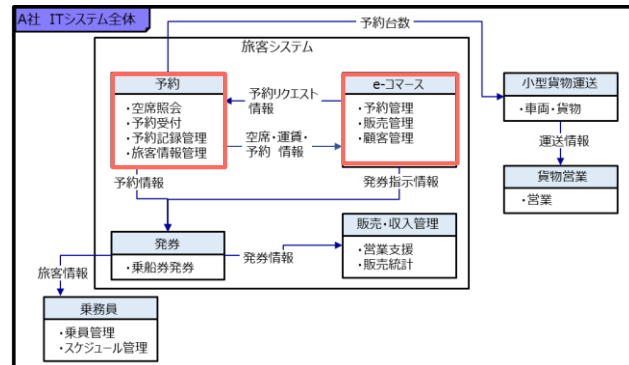
対象	種別	大分類
ITシステム全体	属性情報	財務
	評価項目	機能システム間の独立性 データ活用の仕組み 運用の標準化 ガバナンス
機能システムごと	属性情報	事業特性 影響度 システム特性 保有リソース IT資産の状況
	評価項目	①DX対応に求められる要件 ②基礎的な要件 ITシステム品質 IT資産の健全性



②一部の機能システムに適用

問題がありそうな機能システムが既にわかっている

対象	種別	大分類
ITシステム全体	属性情報	財務
	評価項目	機能システム間の独立性 データ活用の仕組み 運用の標準化 ガバナンス
機能システムごと	属性情報	事業特性 影響度 システム特性 保有リソース IT資産の状況
	評価項目	①DX対応に求められる要件 ②基礎的な要件 ITシステム品質 IT資産の健全性



③一部の機能システムに適用  
+ (DXに求められる要件 or 基礎的な要件) を適用

問題がありそうな機能システムが既にわかっている、あるいは試験的にスモールスタートしたいときは評価項目を絞って適用

対象	種別	大分類
ITシステム全体	属性情報	財務
	評価項目	機能システム間の独立性 データ活用の仕組み 運用の標準化 ガバナンス
機能システムごと	属性情報	事業特性 影響度 システム特性 保有リソース IT資産の状況
	評価項目	①DX対応に求められる要件 ②基礎的な要件 ITシステム品質 IT資産の健全性

# 4. プラットフォームデジタル化指標からわかること

## ● PFデジタル化指標からわかること

対象	種別	大分類	
IT 全 シ ス テ ム	属性情報	財務	
	評価項目	機能システム間の独立性	
		データ活用の仕組み	
		運用の標準化	
		ガバナンス	
機 能 シ ス テ ム ご と	属性情報	事業特性	
		影響度	
		システム特性	
		保有リソース	
		IT資産の状況	
	評価項目	①DX対応に求められる要件	
		②基礎的な要件	ITシステム品質 IT資産の健全性

財務情報から、ITシステムへの注力度合、変化への対応力などを確認

- ・ 全費用に占めるIT費用の割合（ITへの注力度合）
- ・ ランザビジネス費用は削減され、バリューアップ費用は増加しているか
- ・ 全従業員数に占めるIT関連従業員数の割合（ITへの注力度合）
- ・ IT関連サービス費用とIT関連資産の割合（変化への対応力）

ITシステム全体または全社横断的な視点で可視化

- ・ 複数機能システム間の処理の独立性や、データの独立性
- ・ データ分析の仕組み、AI（Artificial Intelligence）活用の仕組み
- ・ 統合された運用基盤の仕組みとルール
- ・ ITのプロジェクトマネジメントに必要な規定と体制、品質管理の標準化と適用
- ・ セキュリティ、および個人情報保護のポリシー、ルール
- ・ CIOは、必要な権限を与えられているか（全社最適の視点）  
デジタル技術活用戦略に適した人材数はどの程度充足しているか

機能システムの特性を把握しリソース状況などを可視化

- ・ 影響度、扱うデータ、期間あたりの変更回数など、機能システムの特性を把握
- ・ 機能システムのIT費用やIT関連部門の人数が、「影響度」に見合っているかなどを可視化して、詳細な調査につなげていく

機能システムの、①DX対応に求められる要件、②ITシステム品質、③IT資産の健全性、について可視化

- ①ITシステム全体の問題点、ITシステムの全社課題がわかる
- ②ITシステムの問題箇所（機能システム）がわかる。「問題なし」も明確になる
- ③DXに求められるITシステム要件としてのデータ活用の度合や、デジタル技術の活用の度合がわかる
- ④基本的なITシステム要件の充足度合がわかる
- ⑤現在のITシステムの技術的負債の度合がわかる

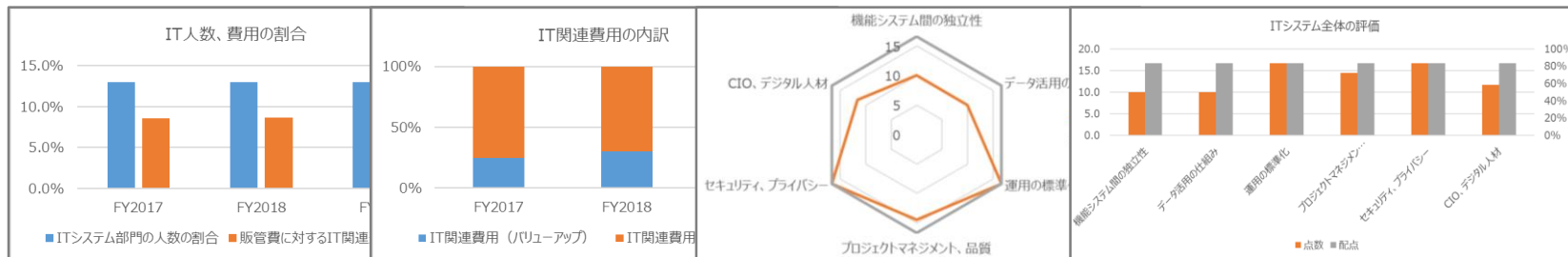
◀ 評価結果をもとに、DX対応のため現行ITシステムをどのようにするか責任者が検討し、経営層へ報告する。



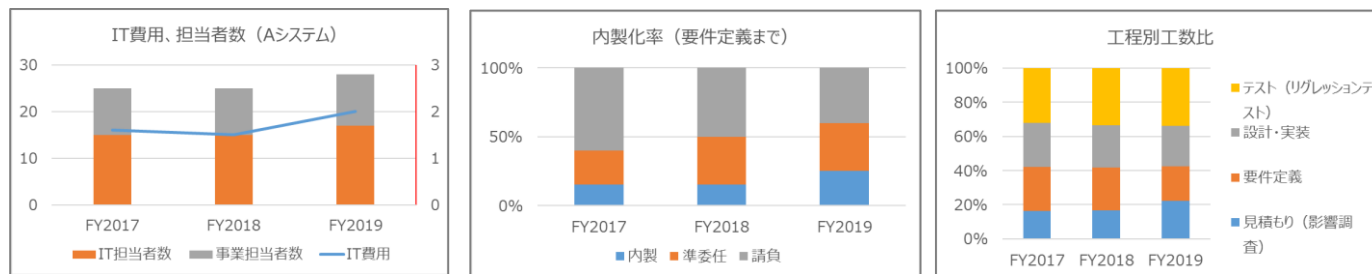
# 6. プラットフォームデジタル化指標評価結果例

対象	種別	大分類
① ITシステム全体	属性情報	財務
	評価項目	機能システム間の独立性 データ活用の仕組み 運用の標準化 ガバナンス
	機能システムごと	
② 機能システム	属性情報	事業特性 影響度 システム特性 保有リソース IT資産の状況
	評価項目	①DX対応に求められる要件 ②基礎的な要件
	機能システムごと	ITシステム品質 IT資産の健全性

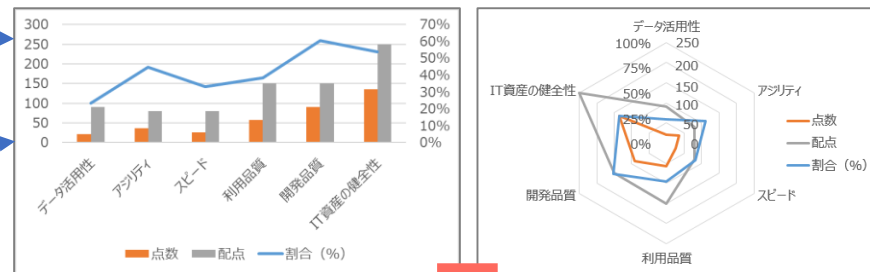
## 1 ITシステム全体評価結果例



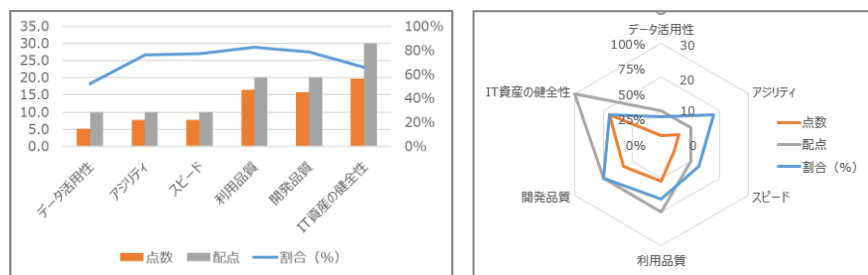
## 2 機能システム別属性情報評価結果例



## 総合評価結果例



## 3 機能システム別評価項目 評価結果例



- ・再構築・廃止・機能凍結の対象の明確化（一部の機能システムがITシステム全体か）、優先順位
- ・ロードマップ、段階的な実施スケジュール
- ・再構築の実装方式（非競争領域では共通化を業界内に働きかける。あるいは外部サービスの利用検討）



# 7. プラットフォームデジタル化指標関連ドキュメント

## ● PFデジタル化指標ドキュメントは下記のように構成される

詳しくは以下のWebサイトを参照してください。

<https://dx.ipa.go.jp/tools/pfdi>

[https://www.ipa.go.jp/ikc/our\\_activities/dx.html#section6](https://www.ipa.go.jp/ikc/our_activities/dx.html#section6)

### <PFデジタル化指標のドキュメント>

ドキュメント名	説明
プラットフォームデジタル化指標（利用ガイド）	PFデジタル化指標を利用する上で知っておくべき、評価の考え方、評価方法、項目の概要、分析例などを記載。
プラットフォームデジタル化指標（項目と設問）	PFデジタル化指標の各項目について、設問内容の詳細を記載した一覧表。「利用ガイド」と合わせて、適宜参照するドキュメント。
プラットフォームデジタル化指標（評価表_＊）	PFデジタル化指標の評価表であり、設問への回答の記入、点数の集計、分析などに使用する表の集まり。3種類のファイルから構成される。
PFデジタル化指標（評価表_ITシステム全体）	ITシステム全体の評価で使用する
PFデジタル化指標（評価表_機能システム）	機能システムの評価で使用する（機能システムの数だけコピーして使用）
PFデジタル化指標（評価表_総合評価）	総合評価で使用する

### <関連ドキュメント>

ドキュメント名	説明
DX実践手引書 ITシステム構築編	DXで必要となる基本的な考え方、ITシステムの要件、技術要素などを記載したドキュメント。現行ITシステムの整理、仕様復元についても別冊に記載している。